



12/5・12・19 強豪チームが丁寧に指導 ～ラグビー教室～

▶子どもたちは大きな体の高校生に臆することなく、挑んでいました



小学生を対象に3回にわたり、ラグビー教室を陸上競技場グラウンドで開催しました。2年連続で全国大会出場を決めた荒尾・岱志高校ラグビー部が中心となって、子どもたちを丁寧に指導。高校生と対戦しながら、子どもたちはボールを片手に元気良く走り回りました。参加者は「分かりやすく教えてもらえて、楽しかったので、次回も参加したい」と声を弾ませていました。3月にもラグビー教室を行います。詳しくは28ページをご覧ください。

12/6～10 心を開き、誠意を持って交わる ～「推心置腹-孫文と宮崎滔天」史料展～

▶文化センターには李天然中国駐福岡総領事も訪れました



宮崎滔天の命日である12月6日に合わせて、文化センターで「推心置腹-孫文と宮崎滔天」史料展が開催されました。2年前、上海孫中山故居記念館で開催された「孫文と日本友人宮崎滔天-学術交流活動および史料展-」を市日中友好促進会議が主催となって再現。12月12日～27日、熊本市でも同展を開催しました。熊本会場の来場者は「二人についてよく知りませんでした。興味深かったです。今度、宮崎兄弟の生家施設も訪問してみます」と話していました。

12/11 誰もが安心して暮らせるまちへ ～「見守り活動の実施に関する協定」締結～

▶左から吉村市建設業協会会長、下市長、木村荒尾警察署署長、山



荒尾市・市建設業協会・荒尾警察署の三者で「高齢者等に対する見守り活動の実施に関する協定」を結びました。この協定は、市建設業協会の会員が、作業中に認知症の高齢者の徘徊や少年の非行などを見つけた場合、速やかに市役所や警察に連絡するというもので、県で初めての取り組みです。吉村厚司市建設業協会会長は「協会では4千人ほどが野外で作業しています。これからマニュアルを作成し、的確な連絡をできるようにしていきます」と力強く話していました。

12/27 得意のモールドで善戦 ～全国高校ラグビーフットボール大会出場～

▶スタンドからは「前心、全身、前進！荒尾」という声援が送られました



荒尾・岱志高校ラグビー部は全国高等学校ラグビーフットボール大会に2年連続8度目の出場を果たしました。初戦は仙台育英学園高等学校（宮城県）と対戦。得意のモールドで先制トライを決め、7-0と序盤はリードしていましたが、ラインアウトやハンドリングのミスにより、仙台育英が逆転。7-39で試合を終えました。徳井彰真主将は「自分たちで厳しい試合を作ってしまった。この悔しさをバネにまた花園を目指してほしい」と後輩たちに思いを託していました。

地域の活動 掲示板

ビーチボールバレー大会



八幡地区協議会
歩け歩け大会

クリーン作戦



桜山地区協議会・桜山げんきかい
シエスタ支援ミニ門松づくり

慰問活動



八幡地区協議会
道路清掃

年末防犯防災パトロール



桜山地区協議会
元気づくり歩こう会



府本地区協議会
ミニ門松づくり



桜山げんきかい
梨園餅つき



みどりが丘元気がい
桜山保育園餅つき



有明元気づくり
子ども消防団夜警活動



万田中央地区協議会



桜山げんきかい



桜山げんきかい



八幡地区協議会

地域おこし協力隊を紹介します

地域おこし協力隊とは、都市地域の住民が地方に移住し、地域おこし活動を行うことで、地域の活性化につなげる制度です。1月からシティプロモーション（情報発信）の分野で2人が着任しました。

須田賢士郎（四ツ山町1丁目・26歳）



愛知県からやって来ました。出身は大牟田市なので、子どもの頃から、荒尾市を身近に感じていました。知らないこともたくさんあるので、全力で学び、行動して、荒尾の素晴らしさを全国に全力で発信していきます。趣味はラーメン屋巡りです。食でも荒尾の良さを伝えていけるよう、頑張ります。これからよろしくお願いします。

白井恒良（東屋形3丁目・46歳）



神奈川県からやって来ました。以前はIT関連の仕事をしていました。今後はその経験を生かし、荒尾の魅力を生かして市内外へ伝えていきます。趣味は山登り（岩も含む）と旅行と献血（現在36回、目標100回）です。今後、九州の山や岩場も周ってみたいです。見かけたら気軽にお声掛けください。よろしくお願いします。